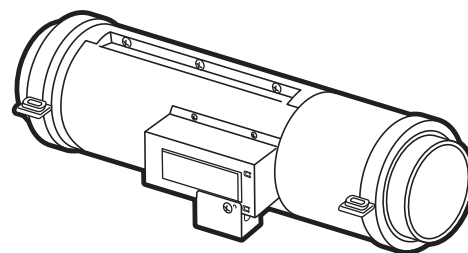
0607873HG3204

ダイケン

24時間換気システム
防音ダクト換気扇22C型　ダクトファン　01タイプ

形　名

SB0302

取付工事説明書　**販売店・工事店さま用**

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。
なお「安全のために必ず守ること」は取付工事上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

■取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管（VU管）のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

●図記号の意味は、次のとおりです。

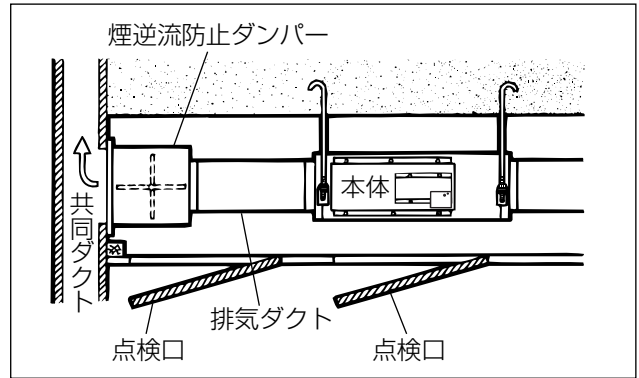
禁　止	水ぬれ禁止	分解禁止	指示に従い必ず行う	アース線接続

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。
	●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 **●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける** 漏電した場合発火の原因。
	●アースを確実に取付ける アースを取付けないと故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
	●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。
	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 **●部品の取付けは確実に行う** 落下によりけがの原因。 **●取付の際は必ず手袋を着用する** けがの原因。 **●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

規　制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割りを果たすものを使用するように義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
- **ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。**

お　願　い

取付場所

次のような場所に取付けない。

■高温（低温）になる場所

- 高温（50℃以上）になるところに取付けない。
  モーター焼損の原因になります。
- －10℃以下の冷蔵庫など氷結する恐れのある場所に取付けない。

■常時振動したり、振動しやすい場所

- 振動しない強固な場所に取付ける。
  落下や製品の故障の原因になります。

■特殊環境

- 腐食性ガスを発生する場所や化学薬品を扱う場所。
- 爆発性の粉じんやガスの発生する場所または、発生するおそれのある場所。
- 濃霧注意報が頻繁に発令される地域や海岸に近い地域。（給気用として取付ける場合）
  故障の原因になります。
- 鶏舎・豚舎などのほこりの多い場所。
- 油煙の多い場所。
- 燃焼排ガスなどを吸込むおそれのある場所。

取付け

- 送風機を確実に取付ける。
  取付けが不十分ですと振動・異常音の原因になります。
- 配線工事は専門の工事店へご依頼ください。
- メンテナンスが行えるように送風機を取付けた天井には保守点検口（□450）を必ず設けてください。
  点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品修理に必要となる天井その他の取り壊しおよび修理費用は工事店様負担になります。

天井・ダクト工事

- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 最上階の屋根裏に取付ける場合は、断熱材で室内空間と同じ温度（49℃以下）になるようにしてください。
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけてください。
- ダクトの先端には、鳥・虫などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード（システム部材）などを、外風が強いところでは耐外風フードなどを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために吸・排気口を設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

●極端な曲げ

●多数の曲げ

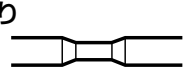
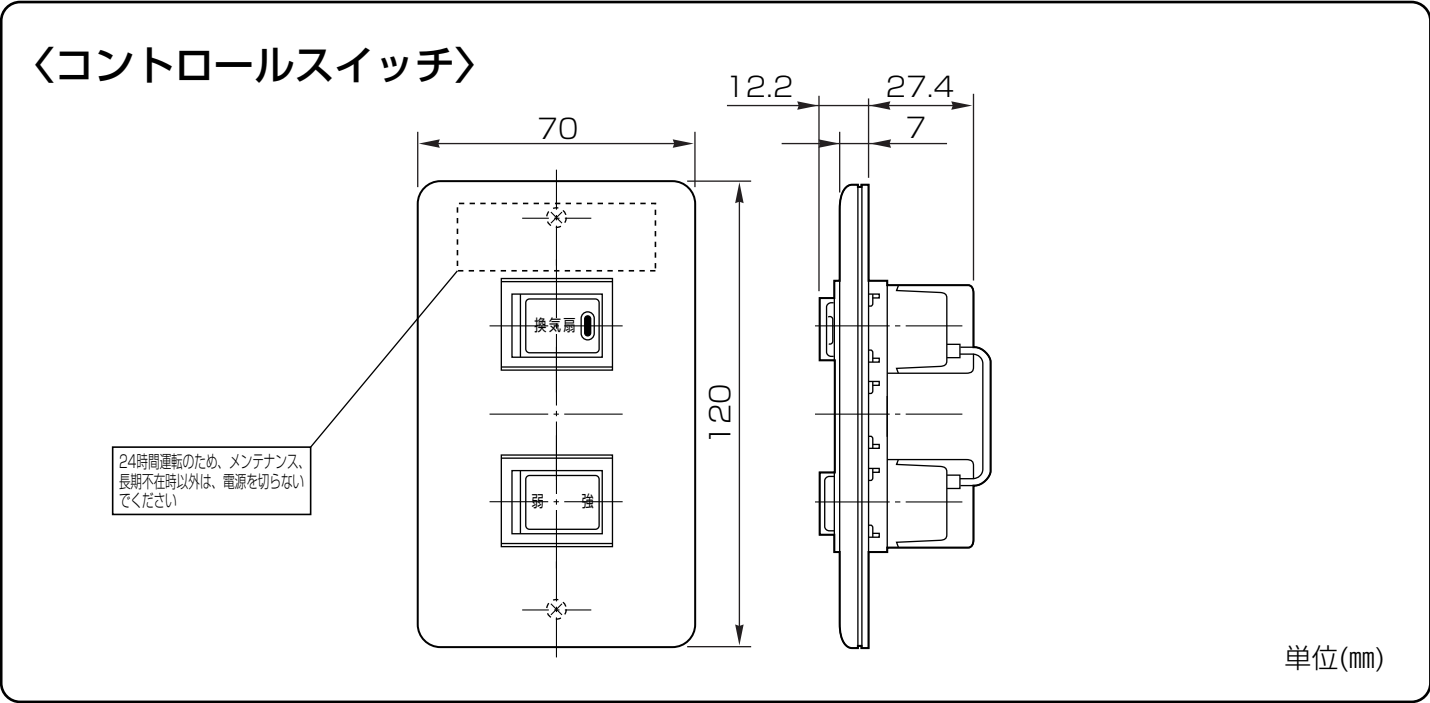
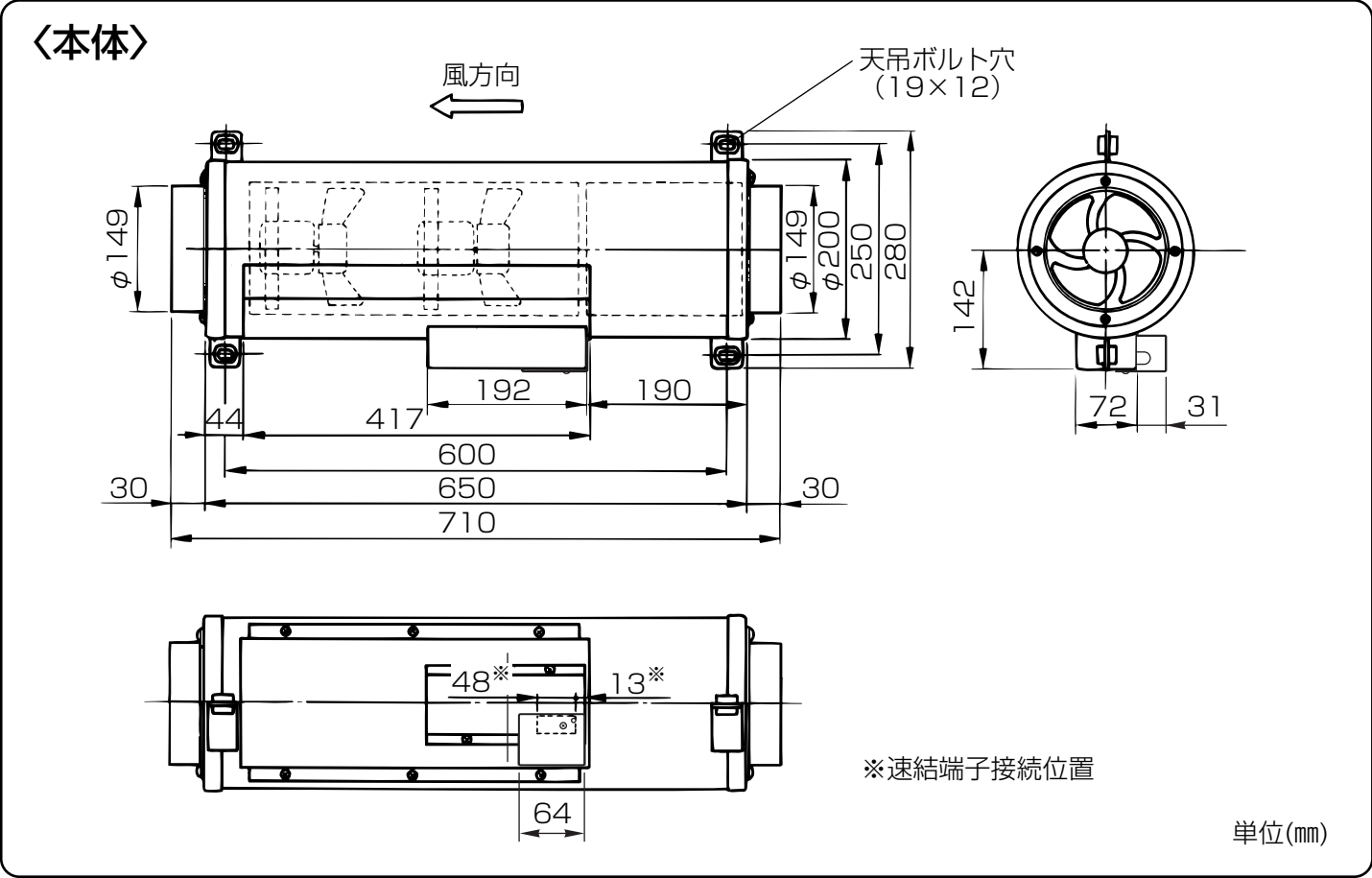
●吐出口のすぐそばでの曲げ

●しぼり

2.外形寸法図

〈本体〉

風方向
天吊ボルト穴
（19×12）
φ149
φ149
φ200
250
280
142
72
31
192
190
44
417
600
30
650
30
710
48※
13※
64
※速結端子接続位置

単位(㎜)

〈コントロールスイッチ〉

3.同梱部品

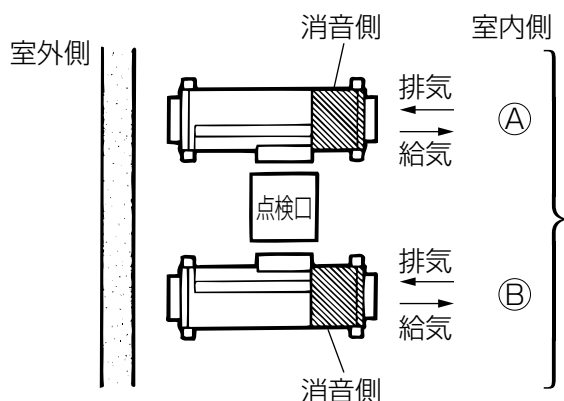
- コントロールスイッチ…1個
- ナット……………16個
- ワッシャー………16枚
- 吊ボルト…………………4本

4.取付方法

1 取付前の準備

1 取付位置・壁穴位置・天井穴位置を決める。
この製品はファンボディの入換えや、天地逆取付を行うことにより、消音側（ファンの運転音が低減される側）の選択や点検口の位置に対応することができます。また縦取付も可能です。

■取付条件

例……室内側を消音側にする場合

※消音側（ファンの音が低減される側）の選択ができます。
※点検口との位置関係によりどちら側からでも取付けできます。

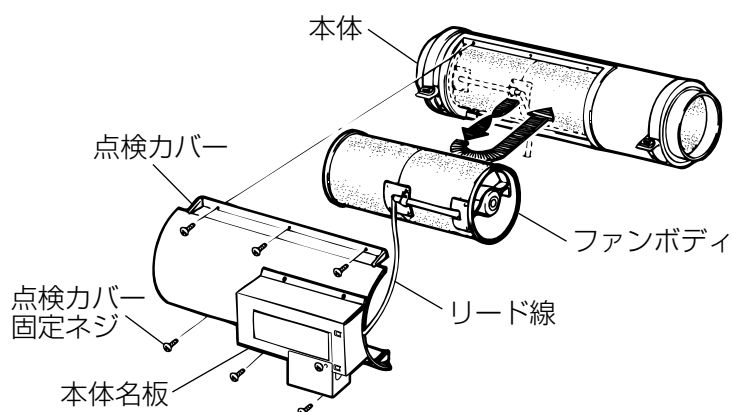
	Ⓐ	Ⓑ
排　　気	工場出荷時のまま	天地逆に取付ける 端子ボックスを上・下逆にする
給　　気	**ファンボディを入換える…2**	**ファンボディを入換える…2** 天地逆に取付ける 端子ボックスを上・下逆にする…3

2 風方向を変更する場合…ファンボディの入換えかた

1 点検カバー固定ネジ6本を外し点検カバーを取外す。

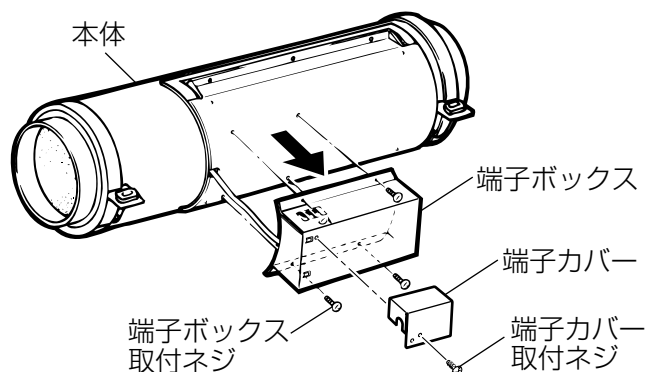
2 ファンボディのリード線に手を掛け軽く引出す。

3 方向を変えて元通り納める。

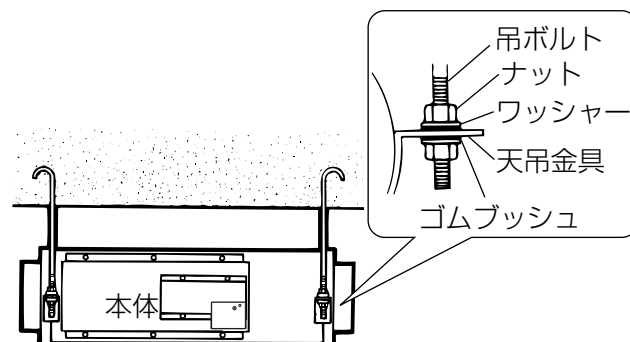
4 本体名板表示の風方向と実際の風方向が逆になるので、ファンボディにテープ止めしてある風方向の名板を本体名板の上から重ねて貼付け、点検カバーを取付ける。

3 天地逆に取付ける場合…端子ボックスの付け換えかた

端子ボックスに取付けてある速結端子の差込み側が上向きになっていますと、ほこりなどにより、故障・事故の原因になりますので、下側になるよう取付け直します。

1 端子カバーを固定しているネジ1本と、端子ボックスを固定しているネジ4本を外す。

2 端子カバーと端子ボックスを上・下逆にしてネジ穴を合わせて締付ける。

4 本体の取付け

システム部材を含めた施工の納まりは別添付の取付説明書をお読みください。

1 本体が水平になるよう天吊金具を吊ボルト（同梱品）に通し、ワッシャー・ナット（同梱品）にて確実に固定する。

ご注意

● 風方向・端子ボックスの上下方向を確認して取付けてください。
（本体名板に表示してあります。）

縦取付けの場合

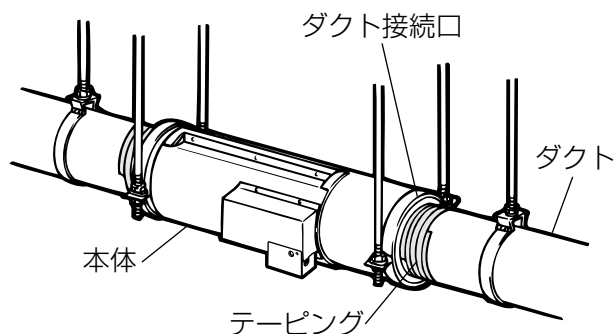
● 本体が垂直になるように天吊金具またはパイプバンド（お客様手配）を使用して固定してください。点検カバーの取外しができるように施工してください。

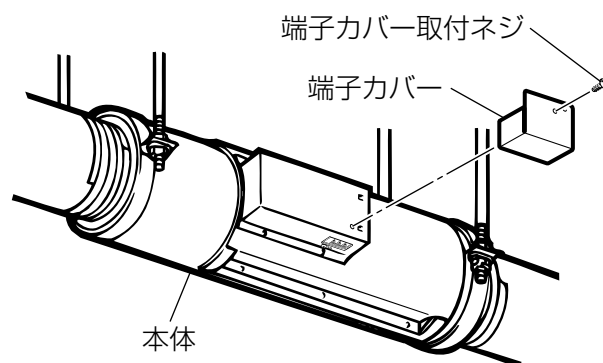
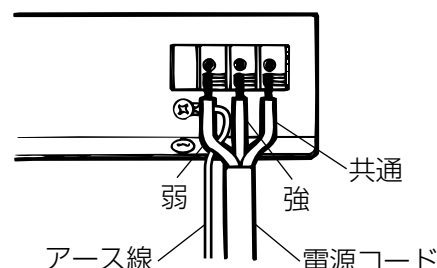
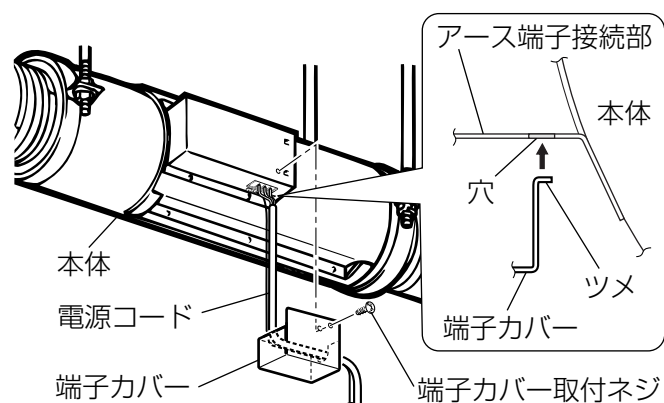
5 ダクト工事

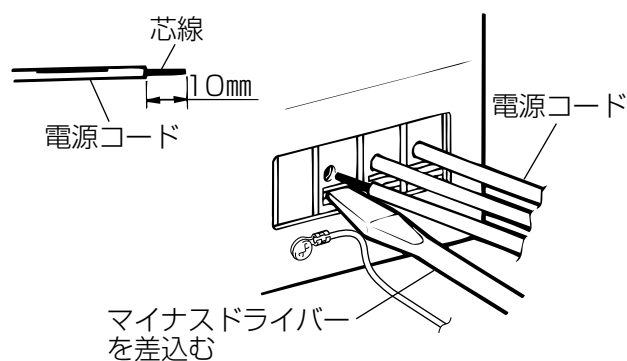
1 ダクト接続口にダクトをしっかり差込み、風漏れのないよう外周にコーキングを施すかまたはテーピングする。

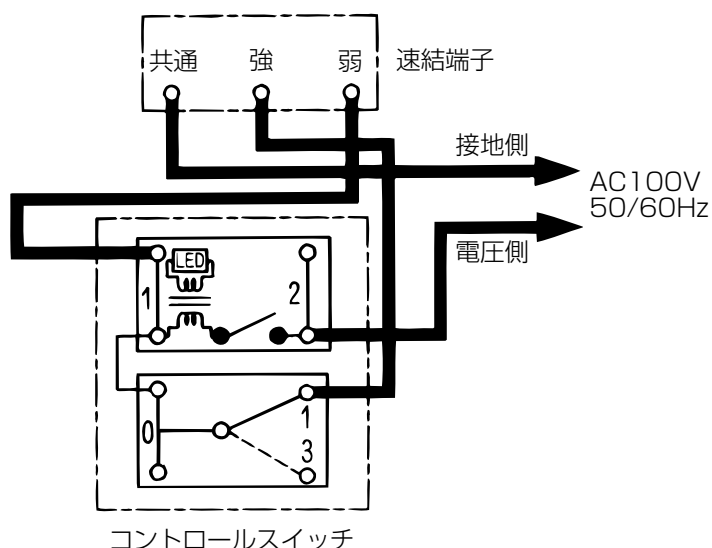
ご注意

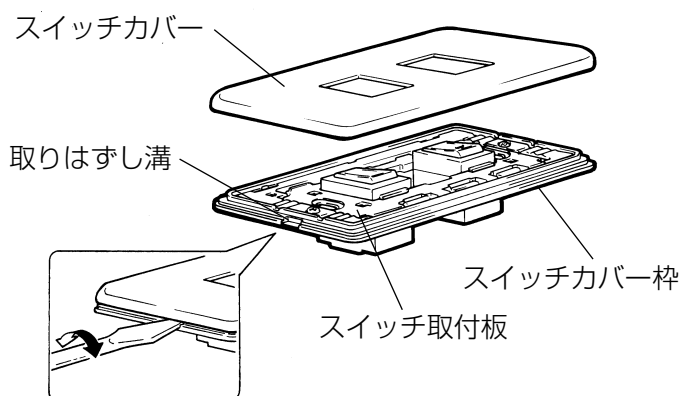
● ダクトは本体に力が加わらないよう接続してください。

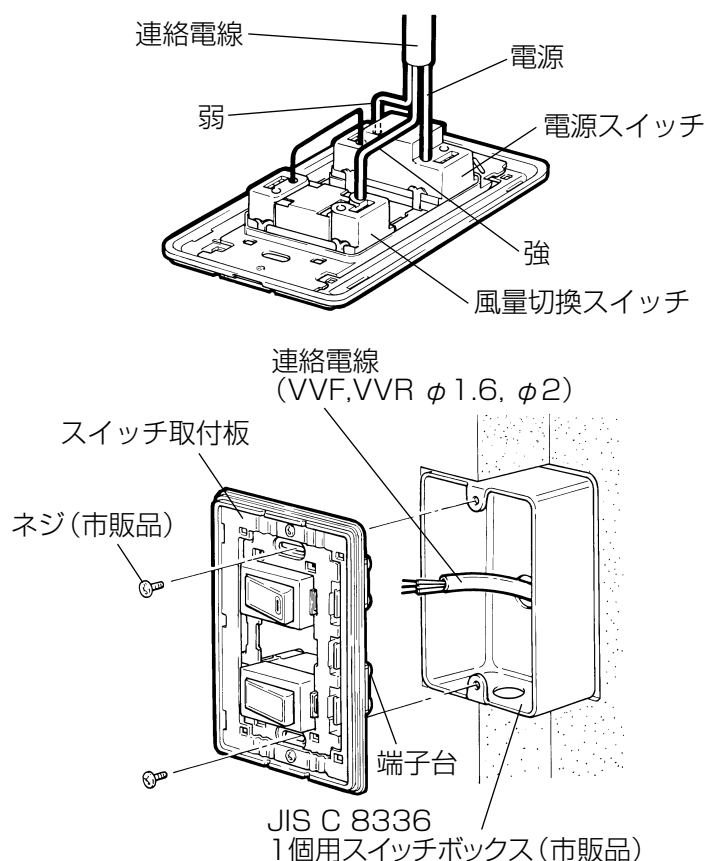
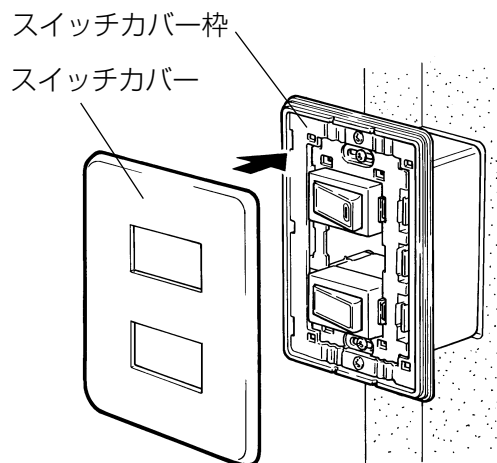
※VU管には粘着遮音シートを巻きつけてください。

6 電気工事

1 端子カバー取付ネジ（1本）をはずし、端子カバーをはずす。

2 VVFケーブル（φ1.6、φ2）の皮ムキした芯線を速結端子の上側の名板表示に従って速結端子に確実に奥まで差込みます。

3 端子カバーの電源コード取出口からVVFケーブルを出し端子カバーのツメをアース端子接続部にある穴に入れ、端子カバーを元通り取付ける。

お願い

- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差込んでください。
- 電線被ふくは端子ボックスにあるストリップゲージに合わせて10㎜むいてください。
- 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150㎜たるませてください。
- 電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源コードを引抜いてください。
- D種（第3種）接地工事の際は、単線直径1.6㎜またはより線1.25㎜^{2}を使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製　YHT-2210をご使用ください。)

■結線図 太線部分を結線する。

- 市販のスイッチをご使用の場合は、スイッチ部の結線は右記結線図に従って行ってください。
- 速結端子の「共通」と「強」のみに電源コードを接続しても、運転できませんのでそのような結線は行わないでください。
- 結線図は本体下側に貼付けてあります。

7 コントロールスイッチの取付け

1 スイッチカバーとスイッチカバー枠のすき間の取りはずし溝にマイナスドライバー等を差し込み、傷をつけないようにひねりながらスイッチカバー枠からスイッチカバーを取りはずします。

2 あらかじめ用意されている連絡電線を結線図に従ってそれぞれのスイッチの端子台へ接続し、スイッチカバー枠を1個用スイッチボックスに取付けます。

- 結線方法は結線図に従って結線してください。

3 スイッチカバーをスイッチカバー枠にはめ込みます。

5.試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1.コントロールスイッチにて正常な運転ができますか？

（1）電源スイッチを「入」にすると送風機の運転が開始され電源ランプが点灯します。

（2）風量切換スイッチを「強」または「弱」のいずれかに合わせ、「強」･「弱」にコントロールされているか音を聞いて確認してください。コントロールされていない場合は誤結線です。ただちに電源を切り結線図を参照し、正しく結線し直してください。

（3）電源スイッチを「切」にして、送風機の運転が停止することを確認してください。

本社：〒530-8210　大阪市北区堂島1丁目6番20号　堂島アバンザ22F
電話　06-6452-6000
http://www.daiken.jp

お問い合わせ
内装材事業部　営業推進室東部営業課　電話（03）3249-4876
内装材事業部　営業推進室西部営業課　電話（06）6452-6121